SHOGAKUSHA





二松学舎新聞 [発行]学校法人 二松学舎 東京都千代田区三番町6-16 03(3261)1292(広報課) https://www.nishogakusha-u.ac.jp

2025(令和7)年 1月20日 VOI. 95



イギリス留学中に英語の上達、人脈形成 に取り組み、海外移住も視野に入れて卒 業後の人生設計を立てたいです。

文学部 国文学科3年次生



勉強とスポーツ、 どちらもがんばる

ハンドボールのチームに所属しており、 今年の夏の全国大会で優勝できるよう、 勉強と両立させてがんばります!

附属柏中学校 2年生



学生生活ラストの年なので、やりたいこ とに積極的に取り組み、後悔のないよう

たくさんの思い出を作りたいです。 国際政治経済学部 国際政治経済学科3年次生



本校野球部の活躍や3年間の応援を通 して、大学進学後、野球に取り組んでみ たいと思うようになりました!

附属高校 3年生



普段目や耳にする言葉にしっかり向き合 い、緻密でありながらシンプルに物事を 深く捉えることにつなげたいです。

文学部 中国文学科4年次生

→ 級の幸せか みんニャに 訪れますように! 新年明けましておめでとうございます。

学生・生徒の皆さんに、 2025年にがんばりたいことを聞きました! 今年も皆さんにとって素敵な1年となりますように。



役者と学業 どちらも質を高める

昨年培ったものの精度を高め、今の私を 伸ばす | 年とします。学業と並行し、舞台 役者としての活動もがんばります。

文学部 都市文化デザイン学科1年次生



毎日英単語を50個覚えます。今年の春の セブ島語学研修や夏のカナダ短期留学 で、海外の友達を作りたいです!

附属柏中学校 2年生



先輩方も苦労していた卒業論文。進路と の兼ね合いもあるので、早めの準備を心 がけたいです!

文学部 歴史文化学科2年次生



自分のしたいことに全力で取り組みます。 特に部活では、先輩たちとの最後の大会 があるので、チームに貢献したいです。

附属柏高校 1年生



本学で得たITの知識や英語力を生かし、 国内外の情報に精通したITエンジニア を目指します。

国際政治経済学部 国際経営学科4年次生

附属高等学校野球部 21年ぶり3度目の優勝

2024年11月7日、附属高等学校野球部は、明治神宮野球場で行われた秋季東 京都高等学校野球大会の決勝戦で早稲田実業学校高等部と対戦。延長12回タ イブレークの末、根本千太郎内野手(1年生)のスクイズが決まり、6対5で勝利。

本校野球部が21年ぶり3度目の優 勝を決めた。

同大会の成績は今年3月に開幕 する選抜高等学校野球大会(通称 センバツ)の出場校を決める重要 な資料となる。出場校を決める選 考委員会は2025年1月24日に予 定されている。



今後ともご声援・ご支援の程、 よろしくお願いいたします。

中国文学科の学科名称を変更 2025年度から国際日本・中国学科へ

2025年4月1日から、文学部の中国文学科は「国際日本・中国学科」 に名称を変更する。中国文学科の教育課程は、中国文学だけでなく、 日本漢学、書芸術、外国語、比較文学・文化や日本学などの領域の学 びが可能である。近年、国際的視点で日本の文学や文化を研究対象と する必要性が生じているが、そのためには文学・言語・思想・文化の総 合学としての日本学や中国学の知見を修得した人材育成が必要であ り、これまでもそうした考えを念頭に置いて中国文学科の教育課程を 編成してきた。今回の名称変更は、これらの多様な学びの領域を実態 に即して反映させたものであり、名称変更後も、学科の目的、教育課程、 教員組織、取得資格、3ポリシー、授与する学位などに変更はない。

年頭のご挨拶



不確実な時代を生き抜く人材育成へ

学校法人二松学舎 理事長 水戸 英則

謹んで新年のご挨拶を申し上げま す。日頃より本学の教育研究活動に ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げ ます。本年、本学は創立148周年を 迎えます。2025年、世界はAIの進展、 気候変動問題、ウクライナ・ガザ、米 中対立等地政学リスクの高まり、米 国政権交代など、不確実性が増して おり、このような状況下、教育・研究 機関としての本学の役割はますます 重要になっています。

本学は、これまで長期ビジョン 「N'2030Plan」に基づき、新学科の 開設やカリキュラム改革、DXの推進 など様々な取り組みを進めてまいり ました。これらの成果は、良好な財 務基盤ともあいまって外部評価機関 からも高い評価を得ております。

本学は人文社会科学系大学とし て、現代社会が抱える複雑な問題解 決に貢献できる人材育成を目指して おります。特に、気候変動問題や社 会の不平等など、資本主義が取り残 してきた課題を解決するためには、 これらの問題の本質を解明できる人

文社会科学の知見を培った人材の 育成が不可欠であり、具体的には、 ①グローバルな視点と社会貢献意 識を持った人材の育成、②文理融合 教育を通じて複雑化する社会問題 に対応できる幅広い知識と能力を 備えた人材の育成、③文理融合教育 をさらに進めるための融合学科等 創設の検討などの取り組みを推進 してまいります。

両附属高等学校・中学校において は、『論語』に基づく人格形成を基本 に、探究型学習を通じた学力向上を 主眼とした教育改革を引き続き進め てまいります。法人といたしまして は、安定した財務基盤を基礎として、 規程等法に則った理事会運営、教職 員のSDを通じた資質向上、DXの推 進による各部門の業務効率化など に取り組んでまいります。

本年も、厳しい環境の中ではあり ますが、創立150周年を目指して、 今後とも、変わらぬご支援を賜りま すよう、よろしくお願い申し上げま



新年への抱負

二松学舎大学 学長 佐藤 晋

皆様、新年明けましておめでとうご ざいます。今年も本学の教育・研究 活動にご協力をお願いいたします。

さて、今年は1945年の第二次世 界大戦終結から数えて80年となり ます。現在でも世界各地では戦争が 行われ、その終結が世界的な外交課 題となっています。先の大戦の終戦 は、米国による日本の無条件降伏を 目指した、原爆投下を含む徹底的破 壊という形でのものでした。しかし、 そこから戦後日本は奇跡の経済復興 を果たしました。その後、経済成長 が進み1980年代後半にはバブル経 済を迎えましたが、その崩壊や幾多 の自然災害、リーマンショックなどを 経て日本経済は長い低迷期から抜け 出せずにいます。こうした日本社会 の状況を変えるために大学が社会に 貢献するには、各大学の教育研究活 動を最大限に活性化させ、生産性の 高い人材を育成することが必要です。

こうした人材を育成すべく、本学 では2022年度に新カリキュラムを導 入し、2025年度には4年目を迎え完 成年度となります。これを機に、学修 に関する各種のデータを活用した分 析などによってカリキュラムの効果 検証を行うなどし、より質の高い教育 研究を提供すべく充実したカリキュ ラムの構築に向けて努力を続けてい きたいと考えています。さらに、学問 の専門性を高めたり、高等教育にお いてその必要性が謳われている文理 融合分野の設定などを念頭に、現在、 大学院や学部に新たな組織を設置す るための検討を進めています。

2025年は、こうした検討をより積 極的に進めていく年になりますの で、皆様には、本学の取り組みに対 するますますのご理解とご支援とを お願いいたします。

また、こうした教育研究の質の向 上や充実した学生指導を行うには、 学生の学修環境や教職員の就業環 境の改善も重要です。学生・教職員 全員の心身の健康を担保し、全員が 生き生きと自分の能力を伸ばしてい ける「生産性」の高い大学を実現した いと思います。



新たな取り組みに向けて

二松学舎大学附属高等学校 校長 鵜飼 敦之

新春の候、皆様には健やかに新年 をお迎えのこととお喜び申し上げま す。本校におきましても、無事に新 しい年を迎えることができましたの は、ひとえに保護者の皆様をはじめ、 地域や関係者の皆様方の温かいご支 援のおかげでございます。この場を お借りして心より感謝申し上げます。

2025年は、干支でいうと乙巳(き のとみ)の年に当たります。「乙」には 新しい芽が曲がりながらも伸びてい がしっかりと成長し、次の段階へと 向かう節目を示唆しています。この ことから、本年は私たちにとって、こ 長の礎を築くべき重要な年であると 考えております。

り組みを積極的に推進してまいりまいです。学校と地域社会が一体とな す。教育の現場は時代と共に変化し、って、生徒たちがもつ無限の可能性 今後もさらに多様性と柔軟性が求めを支え、希望を胸に新たな一歩を踏 られることが予想されます。本校でみ出せるよう、共に育んでまいります。

一人一人の個性や可能性を最大限に 引き出すための新しい試みに取り組 んでまいります。本学の教育理念で もある「自ら考え、判断し行動できる 人材育成」を目指し、「答えがない」時 代を生き抜く力を育むことを求めて いきます。そのために、論語の教え から学び、実践につなげる取り組み を引き続き推進し、「心を育てる」教 育をより一層深めてまいります。さ らに、教職員一同も日々、自己研鑽を くという意味があり、「巳」には植物 重ね、共に学び、共に成長する姿勢 を持ち続けることが必要です。

今後、様々なことに取り組んでいく 上で、学校と家庭、地域との協力はま れまでの努力が結実し、さらなる成ずます重要となります。保護者の皆 様には、引き続き温かく生徒たちの背 中を押していただき、忌憚のないご意 これに向け、学校全体で様々な取 見やご提案をお寄せいただければ幸 も、前例にとらわれることなく、生徒本年もよろしくお願い申し上げます。



夢への挑戦・活気ある進学校へ

二松学舎大学附属柏中学校·高等学校 校長 七五三 和男

謹んで新春のお慶びを申し上げ ます。

新年を迎え、皆様方のご健勝とご 多幸をお祈り申し上げます。

本校は、大学施設が併設された 広大な敷地内で、開放感のある校 舎、体育館や各種専用グラウンドな ど、自然あふれるキャンパスと充実 した学習環境で、生徒たちの「夢へ の挑戦」を第一に考え、日々サポー トに取り組んでおります。

ある建学の精神と校訓および教育がったことと確信しております。そ 目標の発揚・論語による人格教育の のひとつ、松陵祭においては来場者 下、新たな重点指導項目を定めスタ ートいたしました。

取り組み強化、教職員の働き方改革 おります。 を考慮した業務運営、学校統括会

きる人物・学力の伴う受験生の確 保、高等学校では、臨時定員増280 名(2025年度入学者まで)以降定員 249名、定員管理策としてコース・ 推薦ポイントなどの更なる絞り込 みの検討、それぞれの重点課題とい たしました。そして、学校全体の心 掛けとして、【挨拶・清潔・身だしな み】【感謝・気配り・謙虚】【知識・創意・ 挑戦】を示しました。

昨年は、中学校・高等学校ともに さて、昨年4月より、基本姿勢で 多くの行事を実施、生徒の成長に繋 3,561名を迎え、特に中高受験生予 約人数が過去最高となりました。 具体的には、本校教育の2本柱、生徒と教職員、関係者の一丸となっ 「人間力の向上」「学力の向上」へのた強い思いの成果だったと感じて

今後も、先の時代に貢献できる人 議・学校運営会議・各会議との方針 材の育成、建学の理念の実現を更に の共有、中高探究活動の活発化など目指してまいります。関係の皆様 です。また、中学校では、高等学校のご理解とご支援のほど、よろしく 連絡進学後、高入生と切磋琢磨でお願い申し上げます。

2025(令和7)年 1月20日 vol.95

NISHOインフォメーション

『論語』の学校 -RONGO ACADEMIA-



渋沢史料館館長 桑原功一氏

2024年11月30日、「『論語』の学 校一RONGO ACADEMIA―」が 二松学舎大学九段1号館中洲記念 講堂で開催された。19回目となる 今回は、渋沢史料館館長の桑原功 一氏をお招きし、「渋沢栄一の実践 と『論語』」というテーマで講演が行 われた。

新一万円札の肖像となった渋沢栄 一は、日本に近代的経済社会の基礎 を築き、多くの株式会社の設立・育 成と共に、社会・公共事業や国際交 流に尽力した。また渋沢は、本学創 立者の三島中洲とも親交があり、第 三代舎長を務めるなど本学とも深い 関わりがあったことで知られている。

講演では渋沢の生涯や人となり を振り返りながら、「論語と算盤」 の考え方について解説。『論語』を 生涯の指針とし、公益のために尽 力した渋沢の功績を述べた。

Profile

くわばら・こういち

明治大学大学院博士前期文学研究科史 学専攻修了。足立区立郷土博物館専門 員、呉市海事歴史科学館(大和ミュージ アム) 学芸員を経て、2008年より公益財 団法人渋沢栄一記念財団渋沢史料館学 芸員。渋沢史料館副館長を経て、現在に 至る。 著作に『渋沢栄一 日本近代の扉 を開いた財界リーダー』(宮本又郎編、共 著、PHP研究所、2016年)などがある。

漱石山房記念館で漱石アンドロイド朗読会を開催

山房記念館で漱石アンドロイドによ る朗読会が行われた。このイベント は、本学および本学の漱石アンドロ イド研究会協力のもと、同館の特別 宮豊隆」に合わせて開催された。

イベントでは、漱石アンドロイ ドによる『三四郎』の朗読をはじめ、 文学部都市文化デザイン学科の谷 島貫太准教授と漱石アンドロイド 研究会の学生によるトークショー、 ○×クイズ、撮影会などが行われ た。漱石アンドロイドは「かつて 私の家があったこの場所に建てら れた記念館に再び来られたこと を、とても嬉しく思います」と挨拶 し会場を沸かせ、午前・午後の部 とも盛況のうちに幕を閉じた。

今回のイベントは、漱石アンド

2024年10月19日、新宿区立漱石 ロイド研究会に所属する学生たち が中心となって企画内容を考え、 イベント当日も司会や運営、アン ドロイドの操作なども行った。学 生によるトークショーでは、漱石 展「『三四郎』の正体 夏目漱石と小 アンドロイドについて「この研究 会になくてはならない存在で、相 棒のように感じている」「担任の先 生のような身近な存在。"推し"み たいなところもある」などと語り、 会場を盛り上げた。



『三四郎』を朗読する漱石アンドロイド

築土神社「神幸祭」に参加



お揃いの法被でみこしを担ぐ

附属高等学校の野球部3年生とダンス部 は、2024年9月14日、築土神社(九段北1 丁目)のお祭りに参加した。コロナ禍以前は 毎年参加していたが、昨年は久しぶりの参 加となった。4年に一度の大きなお祭り「神 幸祭」に当たる年でもあり、二松学舎のお揃 いの法被に身を包んだ生徒たちは、みこし 担ぎに大汗をかきながらも、笑顔で参加。 町会の方々の元気な掛け声に励まされなが ら、「神幸祭」をきっかけに地域の方々との 交流を深めるよい機会となった。

附属柏中高吹奏楽部がランナーを応援

2024年10月27日に、附属柏中学校・高 等学校吹奏楽部が、第30回手賀沼エコマラ ソンの沿道応援の一環として「道の駅しょ うなん」付近で演奏を披露した。

吹奏楽部では、今回の参加にあたって事 前に部員で話し合い、ランナーの皆さんが 最後まで全力を出し切れるよう元気な曲を 4曲選曲。当日は、ランナーはもちろん、沿 道で応援している方々にも盛り上がっても らうことを目指して、力強く明るいパフォー マンスを行った。

この活動を通して、地域に貢献すること の意義を学ぶと共に、学校と地域の連携を 深めることができた。



音楽でランナーを応援

大阪・関西万博への協賛が決定

学校法人二松学舎は、2025年日本国際 博覧会(大阪・関西万博)において、本学と 漱石アンドロイドの共同研究を行う石黒 浩テーマ事業プロデューサー(大阪大学教 授、ATR石黒浩特別研究所客員所長)が担 当するシグネチャーパビリオン「いのちの 未来」へ協賛することが2024年7月3日付 で決まった。

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未 来社会のデザイン」。石黒教授をはじめと する8人のプロデューサーがそれぞれテー マ別にシグネチャーパビリオンを展開する。 大阪・関西万博は2025年4月13日から開 催される。



受領した感謝状と記念品

二松学舎教育研究振興資金」(寄付)のお願い

学校法人二松学舎では、「二松学舎教育研究振興資金」 の寄付金募集を行っております。寄付金は使途を指定 することができ、さらに、税制上の優遇措置が受けられ ます。(確定申告のお手続きが必要です)

お申し込み方法の詳細につきましては、本学ホームペ ージをご覧ください。ホームページからクレジットカー ド・ネットバンキングなどで直接申し込みが可能です。 スマートフォンで右下のQRコードから簡単にアクセスで きます。または、下記にご連絡いただければ、専用振込 用紙をお送りいたします。

何とぞ、募金活動の趣旨をご理解いただき、 格別のご協力を賜りますようお願い申し上 げます。

お知らせ

学校法人二松学舎への多大なるご理解とご協力を賜 り、厚くお礼申し上げます。ご寄付賜りました個人およ び企業・団体・法人のご芳名を、学校法人二松学舎のホー ムページ「寄付者芳名録」に掲載しておりますのでご確 認ください。なお、お名前の掲載を辞退されたい場合は、 お手数ですが企画・財務課までご連絡ください。

☎ 03-3261-1298 (月~金 9:00~16:30) ⊠k-zaimu@nishogakusha-u.ac.jp

故・奥村睦子氏からの遺贈 ~水木かおる氏名義の著作権など~

二松学舎専門学校卒業生(第17回)で作詞家 として活躍された水木かおる(本名: 奥村聖二) 氏の令夫人・奥村睦子氏が2024年1月15日に 逝去され、水木かおる氏名義の著作権およびご 夫妻が生前愛用されていた陶器や絵画などが本 学に遺贈された。今回遺贈された品々は、今後、 企画展での活用を予定している。

また令夫人には、附属図書館(柏)の水木かお るコーナーの運営や「水木かおる記念文庫だよ



水木かおるコーナーの一角

遺贈によるご寄付について-

遺贈とは遺言書を作成し、遺産を特定の 人・団体に寄付することです。譲渡先の一つ に「学校法人二松学舎」をご指定いただいた 場合、ご自身の大切な財産を人材育成に役立 てることができ、相続税が非課税となる措置 があります。ご関心のある方は下記QRコード、 もしくは、企画・財務課までご連絡ください。

企画·財務課

2 03-3261-1298 (月~金9:00~16:30) ⊠k-zaimu@nishogakusha-u.ac.jp



げ謹

去。満2歳。(2004年10月2日、 田村 政治経済学部教授 ~2012年在職) 紀之 氏(客員教授 (200 長と国の逝

ます。 んで 訓 お 悔 やみ 申 l 上

報

設置校NEW

このコーナーでは、大学、附属高等学校、附属柏中学校・高等学校でのさまざまな



附属高等学校 令和6年度二松学舎祭

今年度のテーマは、「一祭合祭~青春しよう二 松革命~」。「祭」という非日常的な空間の中で、 自分たちが楽しむことはもちろん、来場してくれ た多くの方々を楽しませる文化祭になるよう、 各クラス・クラブで出展や発表の準備を進めま した。家庭科研究部が手作りお菓子の販売を行 ったほか、3年D組がアイスとクレープの販売 を行うなど、飲食を扱う出展もコロナ禍以降初 めて解禁となりました。









味が込められています。中学校では、自問

自答の中間発表を行い、日頃の探究活動



2025(令和7)年 1月20日 vol.95

ROT 8 66

10月29日~11月1日

沖縄・修学旅行(2年生)



附属高等学校2年生は、2024年10月29日~11月 1日、修学旅行で沖縄を訪れた。初日は平和祈念公園 にて沖縄戦証言継承者の方からの平和講和を拝聴。2 日目はクラスごとに旧海軍司令部壕やおきなわワールド などを訪れ、沖縄の歴史と文化について学んだ。3日目 は3つのプログラムから各自が選択したアクティビティを 体験し、最終日は事前に計画した場所を班ごとに巡った。

3日目は残念ながら、 マリンスポーツを選 択した生徒たちは強 風のため海に出られ ず、予定していたプロ グラムが中止となり、 名護市のナゴバイナッ プルパーク訪問に変 更となったが、無事に 4日間の行程を終え、 生徒たちは沖縄の自 然や文化、歴史に触 れる貴重な経験をす ることができた。



今帰仁城(なきじんじょう)跡



シーカヤックでマングローブを楽しむ

附属柏高校

11月7日~10日

沖縄・修学旅行(2年生)



附属柏高等学校2年生は、2024年11月7日~10日、 修学旅行で沖縄を訪れた。初日はひめゆりの塔や平和 祈念公園を訪問。生徒たちは、事前学習したことを振り 返りながら資料館などを見学した。2日目は、沖縄戦で 使用されたガマ(自然壕)に入り平和の大切さを学ぶコ ースや、「コザ」の街を巡りながら、戦後の歴史やアメリ カ軍基地との関係などを学ぶコースなど5つのコースか ら1つを選択し、より深く沖縄を理解した。3日目は沖縄 美ら海水族館を、最終日には国際通りを散策するなど、 沖縄を思う存分満喫した。生徒たちは今回の沖縄訪問 で、平和の大切さを痛感し、命の尊さについて考えるこ とができた。また、集団行動を通して、クラスの仲間との 友情も深めることができた。



ひめゆりの塔で平和を願い献花と黙とう

附属柏中学校

11月13日~16日

グアム修学旅行(3年生)

附属柏中学校3年生は、2024年11月13日~16日、 修学旅行でグアムを訪れた。コロナ禍以降、海外への 修学旅行は5年ぶりとなった。到着後は、現地の学校 で生徒たちと英語でのコミュニケーションに挑戦。日 本からのお土産を渡したり、一緒にスポーツを楽しん だりしながら交流を深めた。そのほか、平和学習として、 太平洋戦争記念館の見学やグアム平和慰霊公苑で黙 とうを捧げるなど、第二次世界大戦下のグアムについ て学んだ。また、ジャングルを巡る船で先住民チャモ 口が住む村を訪れ、文化体験も実施。生徒たちは、葉

や火おこしなどの 初めての体験に 苦戦ながらも楽 しんだ。グアム最 終日の夜にはダ ンスショーの鑑 賞もあり、学びは もちろん、友人た ちと共にさまざま な異国の文化に 触れる修学旅行 となった。



伝統的なダンスショーを鑑賞



ハードロック・カフェで昼食



葉っぱで編み物体験

品川リフラクトリーズ株式会社で 1日営業職体験

~オープン・カンパニー体験記~

2024年9月27日、品川リフラクトリーズ株式会社(本社:東京 都千代田区)の関東営業所を訪問し、本学文学部の学生が1日営 業職体験を行った。同社は、本学第3代舎長の渋沢栄一が携わっ た企業として知られており、耐火物の製造・販売などを行っている。 当日は同社の概要説明のほか、社員の方々にご協力いただき、営 業職のロールプレイングを体験した。

スケジュール

10:00~ 自己紹介、

今日のスケジュール

10:30 ~ 会社紹介

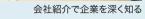
11:45 ~ 昼食

12:45 ~ 営業の業務紹介

16:30 ~ 16:45 質疑応答

14:45 ~ 営業実践





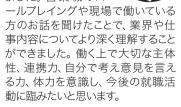


営業職のロールプレイング

参加した学生の感想

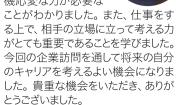
白坂知大さん (中国文学科2年次生)

この度は営業職体 験に参加させていた だきありがとうござい ました。営業職の口



宮本芽生さん (歴史文化学科1年次生)

営業には社内のい ろいろな部署と連携 し、顧客に寄り添う臨 機応変な力が必要な



就活豆知識

対象年次や参加期 間、就業体験の規 定があるのがインタ ーンシップ。対して、 対象年次や参加期 間、就業体験の有 無が必須ではない 企業訪問(職業体 験)をオープン・カン パニーという。自身 のキャリアについて 早い段階から考えら れるメリットがある。

NISHO Activity Report

ここでは、二松学舎の教員の取り組みや研究成果の報告、 学業や課外活動に励む学生・生徒を紹介します。

附属柏高校〈

韓国語・中国語の大会で賞を受賞

第40回千葉県韓国語スピーチ大会

2024年11月2日に千葉県民団韓国会館で開催された第 40回千葉県韓国語スピーチ大会(千葉韓国教育院主催)に おいて、選択授業で韓国語を履修する富塚彰生さん(3年

生)が出場し金賞を受賞 した。「本番に向けて先 生と長期間練習を重ね た結果、本番では自信 を持って発表ができま した」と受賞を喜んだ。



冨塚彩生さん

第30回高校生中国語発表大会

2024年11月23日に開催された第30回高校生中国語 発表大会(高等学校中国語教育研究会 関東支部主催)に、

選択授業で中国語を履修する 原田眞子さん(2年生)が出場。 朗読の部で審査員奨励賞を受 賞した。「発音と話の内容を伝え ることの両立を目指して練習を 重ねました。本番でその成果を 発揮できました」と感想を述べた。



原田眞子さんと古子智美先生

二松学舎・みずほ銀行・みずほ証券

三者間における包括連携協定を締結



左より(株) みずほ銀行常務執行役員 大野龍樹氏、本学 水戸英則 理事長、みずほ証券 (株) リテール・事業法人部門シニアエグゼク

2024年12月10日、学校法人二松学舎と株式 会社みずほ銀行およびみずほ証券株式会社の三 者間において、金融教育による人材育成を目的と した包括連携協定を締結した。同日、二松学舎 大学九段1号館11階会議室にて締結式が執り行 われた。

締結式では、本学の水戸英則理事長、みずほ

銀行常務執行役員の大野龍樹氏、みずほ証券リ テール・事業法人部門シニアエグゼクティブの望 月大輔氏が、それぞれの機関を代表し、協定書を 交換した。水戸理事長は挨拶で「大学、高校、中 学校の学生・生徒に対する金融教育をより一層 充実させ、さらなる金融リテラシーの向上に期待 したい」と述べ、大学長、両附属校長の列席のも と、今後の展開に期待を込めた。

みずほフィナンシャルグループは、世代別の金 融教育の実践が豊富であることに加え、本学の 第三代舎長をつとめた渋沢栄一が創設した第一 国立銀行をルーツに持つことから、本学とゆかり の深い金融機関といえる。こうしたことを背景に 締結された本協定においては、二松学舎全体で の体系的な金融教育の実施体制の確立を目指す とともに、「論語と算盤」という理念を持ち続け近 代日本経済の発展に大きく貢献した渋沢栄一が つなぐ縁と志をもとに、三者で協力して未来を支 える人材育成を展開していく。

協定締結記念特別授業

スタートアップから見る若い人の力とは

締結式同日、本学国際経営学科1年次生の授業 「PBLゼミナール(武居秀俊講師)」の学生を対象に 協定締結記念特別授業が行われた。

特別授業には、フリマアプリ「メルカリ」やスキマ バイトサービス「タイミー」など数多くのスタートアッ プ企業に関わったみずほフィナンシャルグループ・み ずほ銀行エグゼクティブアドバイザーの大櫃直人氏 を講師にお招きした。

講演では自身がかつて銀行員として支援したスタ ートアップ企業の例を挙げ、若い起業家との出会い や融資に至るまでの道のりを振り返り、デジタルネイ



「挑戦する」ことの大切さを語る大櫃直人氏

ティブ世代といわれる若年層への期待を語った。 また、渋沢栄一の「幸福を求むる者は夢なかる べからず」という言葉を用いて、夢を持つことや失敗 を恐れず挑戦し続けることの大切さを学生たちに伝

2024年度二松学舎大学父母会会長 藤井 由紀子さん

息子の進学を機に「二松学舎大学」とはどんな大学 だろうと興味を持ちました。入学時に配付された『「論 語と算盤」渋沢栄一と二松学舎 山田方谷・三島中洲か ら渋沢栄一への陽明学の流れ』(編者学校法人二松学 舎)を読み、創立者・三島中洲先生やその師である山 田方谷先生を知りました。私は方谷先生の生き方に感 銘を受け、特に「至誠惻怛※」という言葉が心に残って います。そんな経緯もあり、私たち家族は昨年、一昨 年の夏、お二人が生まれ育った岡山県を訪ねました。

岡山県に行くと、驚くほど二松学舎と深い関係があ ることがわかります。例えば、「二松學舍大学備中漢学 資料室(倉敷物語館土蔵展示室内)」には、お二人の関 連資料が展示されていますし、中洲先生生家跡には三 島中洲生誕地碑が建てられています。また、少し足を 延ばすと高梁市と新見市に「山田方谷記念館」があり、 お二人の歴史に触れることができました。

4年間は長いようで意外とあっという間です。皆さ んには、これからの人生をどう歩んでいくべきかをし っかりと考える時間にしてほしいと思います。私が本 から方谷先生の生き方に惹かれたように、本でも、身 近な人でもいいので、人生のお手本となる存在をぜひ 見つけてください。

※しせいそくだつ…まごころといたみ悲しむ心があれば優しくなれる



倉敷物語館にて(藤井会長とご子息の譲さん)

地域•産学連携

佐藤晋学長が倉敷市長を表敬訪問

2024年11月5日、本学の佐藤晋学長が倉敷 市の伊東香織市長を表敬訪問した。倉敷市と 本学は、2016年3月に連携協力に関する協定 を締結し、倉敷市の文化観光に係るイベントや 講演、企画展などを実施してきた。



本学は、今年度から佐藤学長のもと新体制と なり、倉敷市も5月から伊東市長の5期目がスタ ート。今回の訪問では、改めて協定の趣旨を確 認し合い、今後の連携強化の方針が協議され ると共に地域連携をより円滑に推進するための 合意書も新たに締結した。

佐藤学長と伊東市長による会談では、連携を より一層深めるための意見交換が行われたほ か、訪問前日に協定に基づき開催された「倉敷 市・二松学舎大学連携講座」に関することや地 域観光資源としての倉敷市の歴史について語り 合うなどされた。本学と倉敷市は、学芸・文化 観光などの連携協力について今後一層の充実を 図り、引き続き連携を推進させていくこととした。

岡山県倉敷市と本学の交流

~体感型推理ゲーム「名探偵 刑部大輔の事件簿」~

2024年11月16日・17日に、本学メディア祭実行委 員会が主催する体感型推理ゲーム「名探偵 刑部大 輔の事件簿」が倉敷市で開催された。これは、同市と の連携協力のもと、2日間で全3公演を実施。 すべて 満席となった。参加した方々からは「街並みを楽しみ つつ、謎解きも楽しめた」「解きごたえのある謎だった」 といった声があがった。また、広島県や兵庫県など近 隣の県からの参加者もおり、本学と倉敷市のPRにも つながった。



当日運営に参加したメンバ-

2024年度の学位記授与式および 卒業証書授与式について

大学 2024年度学位記授与式

日時:2025年3月17日(月)11:00~

会場:文京シビックホール

※同日、東京ドームホテル 大宴会場「天空」で父母会 主催 卒業記念パーティーを開催予定。

附属高校 第75回卒業証書授与式

日時:2025年3月1日(土)9:30~

会場:日本教育会館

※同日、ホテルグランドアーク半蔵門 宴会場「華の 間」で暫別懇親会を開催予定。

附属柏高校 第54回卒業証書授与式

日時:2025年3月3日(月)9:30~ 会場: 附属柏中学校 · 高校体育館

附属柏中学校 第12回卒業証書授与式

日時:2025年3月19日(水)9:30~ 会場: 附属柏中学校 · 高校体育館

※同日、ザ・クレストホテル柏で卒業を祝う会を開催予定。

◆日時・場所などは予定です。詳細は各設置校にご確認 ください。

を開催します!

2025年 3/22(土)

詳細は入試課までお問い合わせください。 入試課: ☎03-3261-7423 (月~金 9:00~16:30)

2025(令和7)年 1月20日 vol.95